

令和4年6月9日発行

益田翔陽高等学校同窓会

No. 14

発行

島根県立益田翔陽高等学校同窓会

事務局

赤陵会館内

益田市あけぼの東町13-1

TEL 0856-23-1619

FAX 0856-25-7044

HP http://shoyo.info/



会報

令和4年度 第14回 益田翔陽高校同窓会定例総会

『竜蟠虎踞』

〜 明るい明日へ未来へ 』



同窓会長 松本慎司

「同窓会活動への思い」

新型コロナウイルス感染症の流行が、すでに二年を超えてなお一向に収まる気配がなく、世界中が前例のない苦闘を強いられております。益田翔陽高校同窓会の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。同窓会へのご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。一昨年よりコロナ禍のため、ほぼ全ての活動が停止に追い込まれ同窓会としてもまことに辛い期間となりました。中でも祝賀懇親会の中止により、皆様方の交流の場が失われたことが何より残念なことでした。昨今のパンデミック状態、感染防止のためとはいえ、皆様には深くお詫び申し上げます。私は昨年の同窓会定例総会において、書面決議により同窓会会長を引き受けることになりました。昭和五十四年に益田農林高校農業土木科を卒業し、益田市内に就職しました。以来四十二年間勤務し、昨年定年を迎えることが出来ました。同窓会との関わりは、平成十八年の四十五歳時に当番期がめぐってきたことで、同級生が集まり総会の開催に向けて、何度も打ち合わせをしたことから始まりました。その時に実行委員長を引き受けることとなり、同窓会会長として母校への思いと伝統の深さを強く感じたところです。同窓会長を引き受けるにあたり未熟者ではありますが、皆様のご協力をいただきながら同窓会の発展に努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、令和二年より世界中に新型コロナウイルスの感染が広がる中で、世界のスポーツの祭典オリンピック・パラリンピックが開催されました。昨年の七月には東京、今年の二月には北京で、両大会とも無観客での開催となり、オリンピックファンには残念な結果となりました。また、開催には賛否両論ありましたが、四年間練習を重ねてきた選手たちにとっては最高の舞台になったのではないかと思います。ところが、北京パラリンピック開式

前に大変な出来事が発生しました。ロシアのウクライナ侵攻です。毎日のようにメディア報道がされていきますが、二十一世紀の時代に一方的な侵攻が行われ、多くの人々が死傷している状況が続いています。人間としてこれがかとういふ気持ちが入み上げてきませんが、何事においても平和と自由が大前提であることを再認識したところで。今年度、第十四回の益田翔陽高校同窓会定例総会の開催に向けて、平成七年卒業の当番期生により準備が始まり、第一回の本会との打ち合わせ会におきまして、当番期生の役員体制とスローガンの報告がありました。メインスローガンは「竜蟠虎踞（リユウバンコキョ）サブスローガン」〜明るい明日へ未来へ〜 このスローガンへの想いは「『コロナウイルスを知る「前」とは多くのことが変わってしまった「今」を生きる私たちが、笑顔あふれる幸せな「未来」を求める気持ちは変わりません。一人一人が培ってきた知識や技術、得難い経験を持ち寄り、天に駆け上がる竜の如き強い力となって、困難な時代を「明日」に向かって歩を進める、そんな同窓会でありたい」と考え、このスローガンにしたとのことでした。このスローガンには、コロナ禍においても諦めず前進しようとする強い思いを感じます。その後、数回の準備委員会が開かれてきました。いまだにコロナウイルスの感染拡大は終息が見えない状況であり、益田市におきましても毎日感染者が出ています。このような状況の中での同窓会の開催について、当番期生より相談があり、役員会・理事会において協議をいたしました。その結果、六月の定例総会は規模を縮小しての開催とし、その他のイベント・懇親会につきましては、今年度も中止という苦渋の決断をさせていただきました。当番期生と同窓生の皆さんには大変申し訳なく思っています。最後に、来年度の同窓会定例総会・懇親会が開催できることを期待し、皆様のご健勝・ご多幸そして母校の発展および同窓会の繁栄をお祈りしご挨拶いたします。

Table with columns for (1) 転出者・退職者 and (2) 転入者・新任者. Rows list names and positions of members, including roles like 校長, 教諭, 講師, 事務主任, and 事務主任.

旺盛な研究心を持つとう

益田翔陽高等学校

校長 福井 文生



若葉を渡る風が、さわやかな季節を運び、色とりどりのさつきやつつじが咲き競う季節になりました。全国の益田農林高校、益田工業高校、益田産業高校、益田翔陽高校の卒業生におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動に對しまして暖かいご理解とご支援を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

次に、「互いの心を尊重しよう」と

業後の進路実現に向け、資格取得等に挑戦してくれることを期待しております。と同時に、学校生活を通じて、生徒一人ひとりが自分なりの課題を発見して、よりよい社会を創っていくこととする探究的な人になってほしいと考えています。これが一つの「旺盛な研究心を持つとう」です。

「郷土を愛する心を持つとう」は、産業界と高等学校が一体となった「社会に開かれた教育課程・学校」を本校は展開しています。地域社会や産業界と連携・協働した教育活動を進めるなかで、地域を考え、発展に寄与する心豊かな職業人になってほしいということです。この三つの目標達成に向けて教職員一丸となって取り組んでまいります。

本校では、つぎの三つを教育目標としてしています。一「旺盛な研究心を持つとう」二「互いの心を尊重しよう」三「郷土を愛する心を持つとう」です。

他校で見ることのできない一つの敷地内に様々な施設・設備を用いた、多くの実習を通して、それぞれの専門的な知識と技術を身に付けることができます。さらに、専門に応じた資格取得も可能です。新入生の皆さんが、今日から三年間、将来の目標を定めて、卒

月二九日には三年ぶりの対面でのPTA総会開催。同日開催の「緑の市」では保護者限定として、その前後には一般の方対象として、ナス、ピーマン、パプリカ等野菜の苗と、ヘゴニアセア、マリゴールド等花壇苗と、イチゴジャムを沢山購入して頂きました。生徒が日頃の授業の中で栽培・生産・加工した農場生産物の販売ということ

で、教育活動の一環として本販売会を行い、直に生徒が販売に携わり、購入して頂く方と触れることで、授業と社会がつながることを実感でき、達成感を感じてくれると確信しております。昨年度の生徒の活動を報告します

と、電気科では三年生の課題研究で一つのグループが、コロナ禍での生活に役立つものをと空気清浄機を製作。3Dプリンターを用いて羽根などの部品を成形。益田養護学校に寄贈しました。電子機械科では、日本の産業を支える「ものづくり」の良さを中学生に伝えようというところで、中学訪問を実施しました。「金属を溶かして形にする」をテーマに砂で型をつくり、溶かした金属を流し込みオリジナルキーホルダー製作の講座を生徒が行いました。

生物環境工学科では、益田市と協働して「まず食と農プロジェクト」を展開。ミライを担う子ども世代に向けた食と農への理解を深める活動を実施しました。

総合学科では、総合的な探究の授業で一人の生徒が、幼児向け絵本『であいはたからもの』を色鉛筆で製作。「益田の子ども達に益田の素晴らしさを伝えたい」というテーマのもと幼児向けの絵本を活用した手法で取り組み、完成した絵本を活用して市内保育園等での読み聞かせも実施。益田市において60冊の増刷を行い、市内保育園や幼稚

園、小児科等へ配布されました。生徒諸君が先輩たちに続いて各分野で活躍してほしいと願い、全教職員で応援してまいります。

変わるごと、変わらないこと

益田翔陽高等学校

教頭 橋本 景子



若葉の緑が日ごとに色づき、職員室から万葉公園をひるがえる鯉のぼりが見えや地域との連携・協働等を重視するといった考え方は、本校では今までも大切にしてきたこと。一昨年、昨年と、コロナ禍により保護者や地域の皆様を学校にお招きする機会が失われてしまったことはとても残念ですが、課題研究発表会はひとまるビジョン様に撮影していただき、編集して配信するなど、生徒の学びや成長をなんとかして見ていただける方法を模索しました。感染力の強い変異株の広がりで新型コロナウイルスの感染予防をしながらの学校生活は続きますが、三年ぶりにPTA総会が行われ、緑の市では日にちを分けて地域の皆様にも販売することができました。新しい取組としては、複合型専門高校である本校の強みを活かして、電子機械科と生物環境工学科とが連携し、地元企業にご指導を仰ぎながら環境保全の課題研究を進めようとしています。益田産業高校、益田工業高校の歴史と伝統を受け継ぎながら、益田翔陽高校ならではの魅力発信に努めていきたいと思っております。

最後にになりましたが、同窓生の皆様方へ先ずのご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、甚だ簡単でございますが挨拶とさせていただきます。

改善、学習評価の充実等を進めているところ。また、「GIGAスクール

令和3年度 益田翔陽高校同窓会 事業報告

日 時	業 務 内 容	会 場	日 時	業 務 内 容	会 場
令和3年 4月2日	18:30~ 第1回理事会(定例総会について、役員改選について)	赤陵会館会議室	6月13日	令和3年度 第13回同窓会定例総会 書面決議	
	19:30~ 役員選考委員会	赤陵会館会議室	7月14日 18:00~	第3回理事会 総会の反省、新役割担当	赤陵会館会議室
4月12日	19:00~ 役員選考委員会 同窓会長選定	赤陵会館会議室	9月1日	令和3年度 翔陽高校助成	赤陵会館会議室
4月16日	10:00~ 会計監査会	赤陵会館会議室	12月16日 18:30~	次期実行委員会との打ち合わせ会	赤陵会館会議室
4月26日	18:30~ 第1回役員会 2年度報告・3年度案、役員・理事選定	赤陵会館会議室	令和4年 2月4日 18:30~	役員・総会担当理事書面決議 総会開催について	
5月10日	18:30~ 第2回理事会 2年度報告・3年度案、役員・理事選定	赤陵会館会議室	2月28日 11:00~	第14回 同窓会入会式(140名 入会)	翔陽高校体育館
5月20日	18:30~ 総会担当役員会議、総会開催の可否について	赤陵会館会議室	2月26日 18:30~	次期実行委員会との顔合わせ	赤陵会館会議室
6月2日	19:00~ 定例総会最終打合せ	赤陵会館会議室			

令和3年度 同窓会収支報告書

(令和3年4月1日~令和4年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1) 会費	1,500,000	1,500,000	0	令和2年度卒業生 @12,000 × 125人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	12	11	△ 1	利息
4) 寄付金収入	0	37,714	37,714	瀧田貞雄氏
5) 繰越金	573,450	573,450	0	
収入合計	2,073,462	2,111,175	37,713	△収入決算減額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1 事業費	1,348,000	1,194,966	△ 153,034	
1) 組織強化費	100,000	2,656	△ 97,344	総会開催助成(実行委員会)
2) 立替金	443,000	422,950	△ 20,050	
3) 入会記念費	300,000	302,060	2,060	卒業証書ホルダー・同窓会の葉
4) 会報印刷費	55,000	47,300	△ 7,700	会報100部
5) 母校助成費	400,000	400,000	0	
6) 慶弔費	50,000	20,000	△ 30,000	祝儀・香典
7) 寄付金	0	0	0	
2 事務(管理)費	515,000	450,592	△ 64,408	
1) 会議費	25,000	3,228	△ 21,772	正副会長・理事会
2) 役務費	370,000	370,000	0	監査・職員手当
3) 需要費	100,000	76,484	△ 23,516	HPホスティングサービス他
4) 雑費	20,000	880	△ 19,120	
〔(1+2)支出計〕	1,863,000	1,645,558	△ 217,442	
『収支差額』	210,462	465,617	255,155	
3 特定資産取得支出	0	0	0	
1) 周年事業引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費支出	210,462	0	△ 210,462	
1) 予備費支出	210,462	0	△ 210,462	
支出合計	2,073,462	1,645,558	△ 427,904	△支出決算減額を示す

収支差引額 465,617	収入額 2,111,175 - 支出額 1,645,558
---------------	-------------------------------

特定資産	3,513,566 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 063177
	1,501,939 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 020869

令和4年度 事業計画 (案)

益田翔陽高校同窓会	
本 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会の開催 (毎年6月) ○ 総会開催助成 (45才期当番実行委員会へ) ○ 理事会 ○ 役員会 (正副会長会) ○ 会報の発行 ○ 入会式 ○ 入会記念品 ○ 同窓会の栞 ○ 支部組織強化対策 ○ 母校助成 ○ その他
支 部	○ その他 関東支部大会中止

令和4年度 同窓会予算書 (案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1) 会費	1,680,000	1,500,000	180,000	令和3年度卒業生 12,000円 × 140人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	11	12	△ 1	貯金利息等
4) 立替金戻し入れ	422,950	0	422,950	総会用記念品立替
5) 繰越金	465,617	573,450	△ 107,833	
収入合計	2,568,578	2,073,462	495,116	△は収入予算減額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費	905,000	1,348,000	△ 443,000	
1) 組織強化費	100,000	100,000	0	総会開催助成 (実行委員会)
2) 入会記念費	300,000	300,000	0	卒業証書ホルダー、同窓会栞 140名
3) 会報印刷費	55,000	55,000	0	会報、資料印刷
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔
6) 立替金	0	443,000	△ 443,000	総会記念品代立替払い 750個
2 事務 (管理) 費	540,000	515,000	25,000	
1) 会議費	10,000	25,000	△ 15,000	役員会
2) 役務費	370,000	370,000	0	役職員 (庶務・監査) 手当
3) 需要費	150,000	100,000	50,000	ステージ吊り看板、ホスティングサービス他
4) 雑費	10,000	20,000	△ 10,000	
〔(1+2) 支出計〕	1,445,000	1,863,000	△ 418,000	
「収支差額」	1,123,578	210,462	913,116	
3 特定資産取得支出	0	0	0	
1) 周年行事引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費	1,123,578	210,462	913,116	
1) 予備費	1,123,578	210,462	913,116	
支出合計	2,568,578	2,073,462	495,116	△は支出予算減額を示す

【特別会計】 令和4年度同窓会定例総会対策費予算書 (案)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
総会対策費	350,000	350,000	0	前年度定例総会実行委員会より
収入合計	350,000	350,000	0	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
事業費	350,000	350,000	0	R4年度定例総会実行委員会へ
支出合計	350,000	350,000	0	△は支出予算増額を示す

令和4年度(第14回)
益田翔陽同窓会定例総会

◆基本構想◆

一、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を六月十二日(日)に開催する。
二、この定例総会は、平成六年度(平成七年三月卒業)の当番期生として構成する「令和四年度益田翔陽高等学校定例総会実行委員会」が主催する。
三、総会は、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、参加者を限定した自粛開催とする。
四、総会開催資金は、同窓会交付金にて運営する。
五、本年度の総会引継式の席上で、次年度総会に關する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

令和4年度 益田翔陽高等学校同窓会
定例総会プログラム

と き：令和4年6月12日
と ころ：サンパレス益田

- ◎ 受付 10:30 ~ 11:00 1F ロビー
- ◎ 定例総会 11:00 ~ 11:40 2F 総会会場
- 開 会 宣 言
 - 総会実行委員長挨拶
 - 同 窓 会 長 挨 拶
 - 学 校 長 挨 拶
 - 招待者紹介、祝電披露
 - 議長団選出・議事手続
 - 議 事
 - 第1号議案 令和3年度事業報告承認
 - 第2号議案 令和3年度収支決算報告の承認・監査報告
 - 第3号議案 令和4年度事業計画(案)の承認
 - 第4号議案 令和4年度収支予算(案)の承認
 - 第5号議案 理事・役員の退任選任(案)の承認
 - 第6号議案 会則の変更(案)の承認
 - 閉 会 宣 言
- ◎ 引継ぎ式 11:40~12:00 2F 総会会場
- 同窓会旗・ハッピー引継ぎ
 - 次期当番期生(平成7年度卒)代表挨拶

◆実行計画大綱◆

一、総会日程及び会場

日 時	日 程	会 場
10時30分~11時00分	総会受付	サンパレス益田
11時00分~11時40分	定例総会	
11時40分~12時00分	引継ぎ式	
12時00分~14時00分	反省会	

二、総会スローガン
(メイン) 『竜 蟠 虎 踞』
(サブ) 『「明るい明日へ未来へ」』

三、定例総会の参加動員計画
① 新型コロナウイルス感染状況を鑑み、人数を限定した縮小開催とする。
② 総会の招待者
同窓会役員、理事、来賓(学校長のみ)、いずれも人数を限定しての招待とする。

実行委員長



(平成七年 工業化学科卒業)
石川 竜生

本年度の実行委員を代
表して一言ご挨拶を申し
上げます。
令和四年度益田翔陽高
校同窓会定例総会の開催

にあたり、松本同窓会会長をはじめ本会役員
の皆様方、お力添えを賜りました様々な関係
者の皆様には、心より厚く御礼申し上げます。
令和四年度のメインスローガンは「竜蟠虎踞
(りゅうばんこきよ)」とし、サブスローガンに
は「明るい明日へ未来へ」を掲げました。

世界がコロナウイルスを知る「前」とは多
くのことが変わってしまった「今」を生きる
私たちですが、笑顔のあふれる幸せな「未来」
を求める気持ちは変わりません。一人一人が
培ってきた知識や技術、得難い経験を持ち寄
り、天に駆け上る竜の如き強い力となって、
困難な時代を「明日」に向けて歩を進める、
そんな同窓会でありたいと考え、その願いを
スローガンに込めました。

ご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の拡大を
受けて前々年度は縮小開催、前年度は書面決
議での開催となり、両当番期生の皆様は大変
悔しい思いをされたと思います。
過日、令和四年度同窓会定例総会ならびに
祝賀懇親会の6月12日開催に向けて、前年度
前々年度の当番期の方々からの想いを受け継

ぎ承継させていただきます。

今年度の当番期実行委員が発足しました。コ
ロナ禍で定期的な準備委員会や役員会を開け
ない状況ではありましたが、農林・工業の両
校出身者が集まり、本会役員の皆様、オプザ
バーの歴代実行委員長の皆様のお力添えを頂
きながら、本年度は何とか盛大に開催したい
と、不慣れた委員会を運営し、準備や議論を
重ねて参りました。しかしながら、今をもつ
ても新型コロナウイルス感染症の流行には終
わりが見えず、ご参加いただく皆様の安全安
心が十分に担保できないとの判断から、非常
に残念ではありますが、定例総会のみ開催
に変更致しました。毎年の祝賀懇親会を楽し
みにされている方も大変多くいらっしゃる
とお聞きしているため、祝賀懇親会を中止を大
変申し訳なく思っているところではありませ
んが、一刻も早く新型コロナウイルス感染症が
終わり、再び同窓会定例総会・祝賀懇親会が
盛大に開催できるようになることを願う次第
です。
本年度は定例総会のみ開催ですが、皆様
をお迎えするため実行委員一同心を込めて
しっかりと準備して参りましたので、ご理解
とご協力を賜りますようお願いいたします。
結びになりますが、益田翔陽高等学校の益々
のご繁栄と生徒の皆様のご活躍と御
指導頂く諸先生方ならびに会員の皆様、関係
者方々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げご
挨拶とさせていただきます。
誠にありがとうございました。

◆令和4年度 益田翔陽高校同窓会◆
企画調整会議役員名簿

役職名	氏名	卒業科	
委員長	石川 竜生	工業化学科	
副委員長	宮崎 裕一	環境土木科	
	高橋 留津子	工業化学科	
部門長	広報資金	宮崎 裕一	環境土木科
	総会	三浦 竜也	機械科
	懇親会	大石 大輔	環境土木科
	アトラクション	高下 智幸	環境土木科
	副部門長	三輪 智彦	食品科学科
副部門長	広報資金	千 振 功	環境土木科
	総会	渋谷 竜一	機械科
		長岡 祐子	工業化学科
	懇親会	石川 哲哉	環境土木科
	アトラクション	和田 朋美	工業化学科
		三輪 智彦	食品科学科
大谷 聖二		食品科学科	
事務局長	森 光	工業化学科	
会計長	丸山 亜希子	工業化学科	

母校は今...

翔陽高校近況報告

生物環境工学科 竹田 正範

(平成14年3月 環境土木科卒)

令和3年4月9日、電子機械科24名、総合学科37名の計108名の新入生を迎え、新年度がスタートしました。

令和3年度もコロナウイルス感染症の波が収まることはなく、学校行事・部活動・課外活動などがこれまでどおり開催できない年度となりました。しかし、これまで未知の感染症として世界中を不安に陥れたコロナウイルスへの感染症対策や新しい生活様式などが浸透していったことで、これまで中止とされてきた行事等がこれまでどおりとはいきませんが、生徒たちは工夫や感染症対策を講じた上でできる形で開催されました。

そして令和3年3月1日に卒業した140名は、進学・就職とそれぞれの新たな進路へと巣立っていきました。

令和3年度のおゆみ

- 【四月】
 - 8(木) 1学期始業式
 - 9(金) 入学式・対面式・入寮式
 - 28(水) 1年生遠足
 - 29(木) 緑の市 中止
- 【五月】
 - 6(木) 第1回中高連絡会
 - 9(日) PTA総会 中止
- 17(月) 中間試験(〜11)
- 17(月) 農クふれあい事業(いも苗植え) 中止
- ※在校生のみで実施
- 19(水) 生徒会・農ク・家ク合同総会
- 27(木) 県総体(前期)
- 【六月】
 - 3(木) 県総体(後期)
 - 14(水) あいさつ運動(〜18)
 - 17(木) 避難訓練
 - 18(金) 農ク意見発表校内大会

- 21(月) 期末試験(〜25)
- 30(水) 学習生活支援講演会(1年生)
- 【七月】
 - 1(木) 校内球技大会(学年別)
 - 2(金) 夕方ふれあい市(ブドウ他)
 - 21(水) 1学期終業式
 - 29(木) オープンスクール(1回目)
- 【八月】
 - 3(火) 夕方ふれあい市(メロン他)
 - 3(火) 進路指導委員会(就職)
 - 13(木) 閉庁
 - 16(月) 体育祭準備開始(3年生)
 - 20(金) 第1回中学生部活動体験 中止
 - 29(日) PTA美化活動・寮PTA清掃 中止
- 【九月】
 - 1(水) 2年生インターンシップ(〜3)
 - 10(金) 薬物乱用防止教室(1年生)
 - 24(金) 進路指導委員会(進学)
- 【十月】
 - 2(土) オープンスクール(2回目)
 - 7(木) 体育祭
 - 9(土) 第2回中学生部活動体験
 - 11(月) 農ク地域ふれあい事業(サツマイモ収穫)
- 【十一月】
 - 13(土) 翔陽祭(〜15)
 - 19(金) 第2回中高連絡会
 - 24(水) 人権・同和教育講演会(3年生)
 - 25(木) 期末試験(〜30)
 - 【十二月】
 - 1(水) 立会演説会・生徒会・農ク・家ク合同選挙
 - 8(水) 避難訓練・夕方ふれあい市
 - 15(水) 総合学科(G科)課題研究発表会(〜16)
 - 16(木) 生物環境工学科(A科)課題研究発表会
 - 22(水) 熊本県立八代農業高校来校
 - 24(金) 2学期終業式

- 【一月】
 - 7(金) 3学期始業式・生徒会・農ク・家ク合同総会
 - 18(火) 推薦入学者選抜
 - 20(月) 電子機械科(S科)課題研究発表会
 - 21(火) 電気科(E科)課題研究発表会
 - 22(水) 島根県の要請により1・2年生学年閉鎖(〜31)
- 【二月】
 - 1(火) 1・2年生課題テスト
 - 2(水) 進路ガイダンス(2年生)
 - 9(水) 地元企業セミナー(2年生)
 - 15(火) 課題研究発表会
 - 18(金) ※撮影してオンライン配信
 - 21(月) 中学2年生対象学科説明会
 - 28(月) 期末試験(〜25)
 - 【三月】
 - 1(火) 同窓会入会式・表彰式
 - 3(木) 卒業式
 - 10(木) 入試学力検査・面接試験(〜4)
 - 11(金) 校内球技大会(学年別)
 - 24(木) 3学期終業式・離任式
 - 25(金) 入學予定者登校日

体育祭

10月7日(木)、『おきろ！化学反応！笑陽の化学反応式S(青春+E)笑顔+A(愛情)+G(元気)！』という体育祭・翔陽祭統一テーマのもと体育祭が行われました。

翔陽祭

例年の翔陽祭は、1日目は校舎でのクラス企画の催しと農場での農産物や加工品の販売が並行して行われていた。この日程だと農場で活動している生徒がクラス企画に参加できないという声が上がりが、令和3年度は初の試みとして3日間開催の翔陽祭となりました。

1日目の13日(土)は農場での野菜や鉢花、ジャムなどの実習生産品の販売を学年別に時間を区切って保護者のみに行いました。例年賑わっていたPTAテントは昨年同様中止となり、農場を行き交う人々の姿を見ることが無くなって2年となりました。

コロナ以前の翔陽祭の様子を知る者としては賑わっていた頃とどうしても比較してしまい、少し寂しく感じています。また、生徒たちにもコロナ以前の販売を体験してもらい、販売活動の大変さはもちろんですが、準備の大切さなども学んでもらいたいという思いもありましたので、コロナウイルスの収束を願うばかりです。

2日目の14日(日)は各クラス・部活動・生徒会(委員会含む)・農業クラブ・家庭クラブによる催しが行われました。生徒以外の来場者は、初日同様時間を区切って各家庭車1台2名までの制限が設けられました。保健所からの指導もあり、飲食に関する催しは「包装されたものでない」と提供してはならないなどの制限を設けて実施されました。